

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1995 (秋・冬号)



•vol. 14

収穫祭が残った!!

前回の志木会報で皆様にお伝えした「収穫祭の名称変更に関する問題」は、下記の通り学校側より説明があったので、ここに掲載いたします。

93年度までの**収穫祭**の反省として、「運営、内容共に難有り」と学校側が判断し、翌年以降の**収穫祭**を継続するべきかどうか、教員会議で検討した。

その結果、「費用がかかり過ぎる」「使途に問題がある」「決算が明確でない」「イベント、展示の企画に問題がある」「後夜祭の私物化が見受けられる」等の改善が望めれば継続しても良いとの結論に達した。そこで、93・94年度の2回に渡り学校指導の下に改善を重ね、本年度が仕上げの年度と位置付けられていた。

一方生徒側は、本年2月より生徒会の呼び掛けにより自発的に一般生徒による準備委員会が発足し、4月末にかけて10回におよぶ討議を重ね内容を詰めていった。5月には準備委員会は解散し、選挙による実行委員長の下に実行委員会が発足し、準備委員会の討議を踏まえ、活動を開始した。5月26日にメトロポリタンホテルにて配布された文章は、準備委員会によるものであった。

これに対しOB諸兄より貴重な意見や経験談等多数学校に寄せられた。この結果今年**収穫祭**の名称が残りました。この場を借りて御礼申し上げます。

ありがとうございました。